

2022年11月24日

〈記事資料〉

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

マット・グロッソ・ド・スール州

「カンポグランデ市ビスコンデ・デ・カイル学園施設整備計画」に係る

草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式について

在サンパウロ日本国総領事館

11月18日（金）午前10時00分、「カンポグランデ市ビスコンデ・デ・カイル学園施設整備計画」に係る我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式を同学園にて行いました。式典には林禎二駐ブラジル日本国特命全権大使、ジョエルマ・マリア・ド・ナシメント学園長及びニルソン・タモツ・アゲナ カンポグランデ日伯文化体育協会会長が出席いたしました。

案件の概要：

- 1 カンポグランデ日伯文化体育協会は、1918年に同市に在住する日系移民を中心に設立された非営利団体で、1925年に本案件施設の前身となる「カンポグランデ日本学校」を開設し、現在はブラジル人も受け入れる「私立ビスコンデ・デ・カイル学園」を運営しています。同校へは3歳から15歳（幼稚園から中学校卒業までの年齢）までの生徒205名が通っています。
- 2 日本政府は、ビスコンデ・デ・カイル学園の広場（児童の遊戯場）の床の修繕、体育館の屋根の改修及び教具（机204台、椅子204脚）の整備に対し、59,350米ドルを限度に無償資金協力を行うことを決定しました。本件協力により、教育環境の安全性向上が可能となり、同地域の児童らの基礎教育の質の向上が見込まれます。

- 3 式典には林禎二駐ブラジル日本国特命全権大使、ジョエルマ・マリア・ド・ナシメント学園長及びニルソン・タモツ・アゲナ カンポグランデ日伯文化体育協会会長ほか約70名が出席しました。ジョエルマ学園長から感謝の意が表され、林大使からは、本件協力が教育環境の安全性向上や、地域の児童の教育の質の向上に役立つことを願っている旨祝辞を述べました。

(お問い合わせ先)

在サンパウロ日本国総領事館経済班

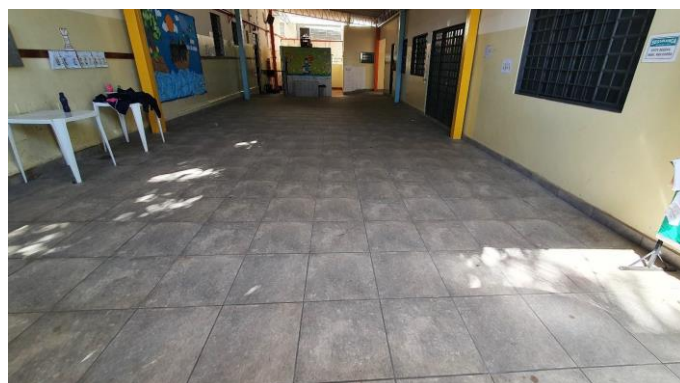
(11) 3254-0100

cgjeconomia2@sp.mofa.go.jp

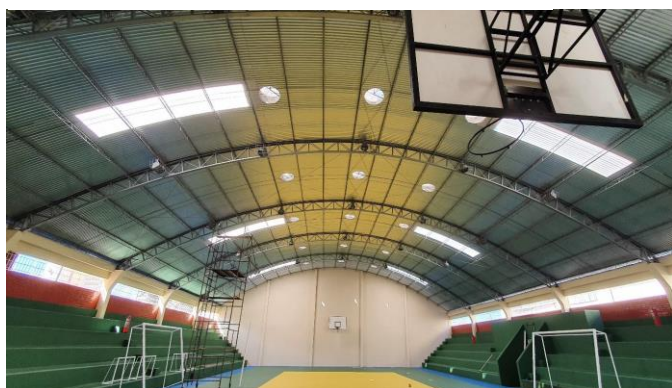
【供与式の様子】



【修繕された床】



【改修された体育館屋根】



【供与された机と椅子】

